

授業実践のまとめ

小学校社会科 第5学年 単元名「自動車工業のさかんな地域」(全8時間)

単元について

この単元では、工業生産に関わる人々の工夫や努力に関する内容について学習します。ここでは、製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、まとめ、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現することを通して、次に示す資質・能力を身に付けることができますようにします。

「知識」に関わる事項では、工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解できるようにします。

「技能」に関わる事項では、我が国の工業生産について、地図帳や各種の資料を用いて、工業の盛んな地域の分布や貿易相手国の位置を調べ、白地図などにまとめることや、統計、写真などの資料やコンピュータなどを使って、工業生産に関わる人々の工夫や努力を調べて、図表などにまとめる技能を身に付けることができますようにします。

「思考力、判断力、表現力等」に関わる事項では、社会的事象の見方・考え方を働かせ、工業製品はどのようにしてつくられているか、工場はどのように関連し合っているか、どのような技術を生かして生産しているかなどの問いを設ける。設けた問いを基に、工業生産に関わる人々の工夫や努力について調べ、工業生産の仕事の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて工業生産に関わる人々の働きを考え、文章で記述したり、図表などにまとめたことを基に説明したりすることができるようにします。

1 単元の目標

我が国の工業生産について、製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、図や文などにまとめ、工業生産に関わる人々の働きを考え、表現することを通して、工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、社会の一員として、これからの工業の発展について考えようとする態度を養う。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などについて、地図帳や各種の資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、工業生産に関わる人々の工夫や努力を理解している。 ②調べたことを図表などにまとめ、工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解している。	①製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、問いを見だし、工業生産に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。 ②工業生産と国民生活を関連付けて、工業生産が国民生活に果たす役割や工業生産に関わる人々の働きを考えたり、学習したことを基に消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの工業の発展について自分の考えをまとめたりして、適切に表現している。	①我が国の工業生産について学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②「社会的な態度」の評価規準は、次の小単元で設定します。

単元の目標や評価規準の設定については、国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」や佐賀県教育センターWeb「学習評価の進め方」、「学習評価 FIRST STEP」を御参照ください。



3 単元の指導と評価の計画(全8時間)



問題解決的な学習過程(**課題把握** → **課題追究** → **課題解決**)で単元をデザインして、単元の評価規準を指導計画の中に位置付けていきましょう。

問題解決的な学習過程で単元をデザインする際のポイント

①児童の気付きや疑問を基に、単元の学習問題を設定します。

②単元の学習問題に対する児童の予想を基に学習計画を立て、課題解決の見通しをもたせます。

③毎時間の学習課題を追究していくための、調べる活動を設定します。

④調べた事実を基に、複数の立場や視点で多角的に考えさせるため、話し合う活動を設定します。

課題把握

課題追究

時間	ねらい	○主な学習活動・内容	評価の重点	評価方法と【評価規準】
1 (本時)	中京工業地帯で盛んな自動車工業について学習問題をつくり、学習計画を立てることができるようにする。	○地図やグラフ、写真などを基に話し合い、学習問題をつくる。 ・工業生産額、工業の種類 ・身近な生活にある自動車 ○学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立てる。	指導 記録	発言内容から「製造工程や工場相互の協力関係、優れた技術に着目して問いを見いだしているか」を評価する。【思-①】 ノートの記述内容や発言内容から「学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。【態-①】
わたしたちのくらしにかかせない自動車は、人々のどのような工夫や努力によってつくられているのだろうか。				
2	自動車工場の全景や内部の様子を調べることを通して、自動車工場の立地や広さ、製造工程を理解できるようにする。	○自動車工場の全景を見ての気付きや疑問を出し合う。 ・工場の広さ、数 ・従業員数 ○自動車の製造工程について調べる。 ・使用する機械	指導	ノートの記述内容や発言内容から「自動車工場は広い土地で幾つかの工場に分かれていることや、製造工程では様々な作業があることを理解しているか」を評価する。【知-①】
3	働く人たちの様子を調べることを通して、作業内容や職場環境を工夫したり改善したりしていることを理解できるようにする。	○働く人たちの話し合う様子や作業の様子について調べる。 ・改善策の提案 ・2交代制での勤務 ・ロボットの活用	指導	ノートの記述内容や発言内容から「働く人たちが効率的に生産するために作業内容を見直したり、働きやすい職場環境をつくったりしていることを理解しているか」を評価する。【知-①】
4	関連工場の様子を調べることを通して、自動車工場と関連工場の結びつきについて考え、表現できるようにする。	○関連工場働く人の様子について調べる。 ・ジャスト・イン・タイム ○自動車工場と関連工場の結びつきについて調べる。 ・立地条件	指導	ノートの記述内容や発言内容から「これまでに学んだ自動車の製造工程や関連工場の様子を根拠に、自動車工場と関連工場の結びつきを考え、表現しているか」を評価する。【思-①】
5	自動車の輸送方法や自動車会社の海外工場を調べることを通して、自動車が消費者に届くまでの過程を理解できるようにする。	○自動車が消費者に届くまでの過程について調べる。 ・輸送方法 ○自動車会社の海外工場での現地生産台数が増えてきた理由について調べる。 ・貿易摩擦 ・費用削減	指導 指導	ノートの記述内容や発言内容から「自動車の輸送方法や自動車会社の海外工場での現地生産や現地販売が増えてきたことを理解しているか」を評価する。【知-①】 ノートの記述内容や発言内容から「これまでの学習を振り返り、更に調べるべきことを考え学習の見通しをもっているか」を評価する。【態-①】

課題追究	6	自動車の開発や消費者の意見を調べることを通して、これからの自動車には安全性や人への配慮が求められていることを理解できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○安全性を考えた自動車の開発について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・事故時の安全性 ・事故を防ぐ機能や装置 ○消費者の需要に対応した自動車の開発について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな人に優しい自動車 ・自動運転技術 	指導	ノートの記述内容や発言内容から「安全な自動車の研究・開発が行われていることや、消費者の需要に対応した自動車の開発が行われていることを理解しているか」を評価する。 【知-①】
	7	自動車の開発やリサイクルの様子を調べることを通して、環境に優しい自動車づくりが行われていることを理解できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○排出ガスの量をおさえた自動車の開発について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッドカー ・電気自動車 ○資源を大切にした自動車の開発について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・部品リサイクル 	指導	ノートの記述内容や発言内容から「ハイブリッドカーの発売や自動車のリサイクルなど、環境に優しい自動車の開発が行われていることを理解しているか」を評価する。 【知-①】
課題解決	8	前時までに調べたことを図や文にまとめ、学習問題について話し合うことを通して、工業生産に関わる人々の工夫や努力、優れた技術の開発によって行われていることを理解できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○学習したことを基に、消費者、工業生産に関わる人々の工夫や努力、優れた技術の開発との関連について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・製造の工夫 ・自動車工場と関連工場のつながり ・安全性や環境の重視 ○図や文にまとめ、学習問題について話し合い、考えをまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・工業生産に関わる人々の工夫や努力 ・消費者の願い 	記録	関連図の内容から、「学習したことを基に、工業の仕組み、工夫や努力について考えたことを説明しているか」を評価する。 【思-②】
				記録	ノートの記述内容から「図や文にまとめ、工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解しているか」を評価する。 【知-②】

⑤単元の学習問題を振り返り、調べたことや考えたことをまとめる活動を設定します。

⑥学習したことを振り返ったり、新たな学習問題について考えたりする場面を設定します。



この単元では、[知識・技能]の記録に残す評価は、事後のペーパーテストにて行います。



単元の目標と評価規準を踏まえ、各時間の評価を行う観点及び評価する場面を決め、[指導に生かす評価]と[記録に残す評価]を計画します。

単元の指導と評価の計画の立て方については、国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」や佐賀県教育センターWeb「学習評価の進め方」、「学習評価 FIRST STEP」を御参照ください。



4 本時の目標

中京工業地帯で盛んな自動車工業について学習問題をつくり、学習計画を立てることができるようにする。

5 本時の展開(1/8) 「授業づくりのポイント チェックシート」

学習活動	教師の働き掛け（・）と評価（☆）	ポイント
<p>1 前単元の学習を振り返り、我が国の工業生産の概要に関する内容を基に、本時のめあてを立てる。</p>	<p>・前単元の学習から、我が国の「工業の種類」、「工業の盛んな地域の分布」、「工業製品の改良」などを基に、「中京工業地帯の盛んな工業や工業生産額の様子」を示した資料を提示し、本時のめあてにつなげる。</p>	<p>【資料提示の工夫①】 導入場面では、本時のめあてにつなげることができる資料を提示します。</p>
<p>㊦ 中京工業地帯の様子について整理して学習問題をつくり、学習の見通しをもとう。</p>		
<p>2 中京工業地帯の主な工業と工業生産額が多い市町について調べ、その特色について考える。</p> 	<p>・中京工業地帯にある市町の「工業の種類」や「工業生産額」、「位置や空間的な広がり」「交通網の広がり」などについて、教科書や資料集で調べ、その特色について考えることができるようにする。</p> <p>・調べたことを基に中京工業地帯の特色について考えたことを、グループやクラスで話し合うことで、中京工業地帯では、輸送用機械の生産が盛んであることについて共有する。</p>	<p>【調べる活動】 調べる活動は、何について、どのような方法で調べさせるのかを意識して設定します。</p>
<p>3 学習問題を設定する。</p>	<p>・「自動車保有台数の変遷」を示したグラフと「たくさんの自動車走る道路」の写真を提示し、毎日の暮らしの中で多くの自動車を利用されていることを確認する。</p> <p>・既習事項である食料生産の学習では、それらに関わる人々が様々な工夫や努力をして食料生産を支えていたことを基にして、工業生産の場合も同様に人々の工夫や努力があるのではないだろうかという予想から学習問題につなげる。</p> <p style="text-align: right;">⇒ 工夫1:学習問題の設定の例 (p.5)</p> <p>☆発言内容から、「製造工程や工場相互の協力関係、優れた技術に着目して問いを見いだしているか」を評価する。 【思—①】</p>	<p>【資料提示の工夫②】 単元の学習問題につなげることができる資料を提示します。</p> <p>【学習評価】 個々の児童が本時の目標に迫ることができるよう、【指導に生かす評価】を行います。特に、「努力を要する」状況(C)と判断される児童に対しては、その学習状況を見取り、適切な指導を行います。</p>
<p>【単元の学習問題】 わたしたちのくらしにかかせない自動車は、人々のどのような工夫や努力によってつくられているのだろうか。</p>		
<p>4 学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立てる。</p> 	<p>・既習事項である食料生産の学習を基に、「製造の工程」「工場相互の協力関係」「優れた技術」に着目し、次時からの課題解決していく事項について見通しをもつことができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">⇒ 工夫2:課題解決の見通しをもつ例 (p.6)</p> <p>☆ノートの記述内容や発言内容から「学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。</p> <p style="text-align: right;">⇒ 工夫3:学習評価の例 (p.7) 【態—①】</p>	<p>【学習計画】 学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立て、課題解決の見通しをもつことで主体的な学習へとつなげます。</p> <p>【学習評価】 観点別学習状況の評価を総括する資料となるよう、【記録に残す評価】を行います。</p>
<p>5 本時の学習を振り返り、次時からの学習の見通しをもつ。</p>	<p>・本時の学びや自分の考えの変容、友達と話し合う活動、これから調べていくことや調べ方などについて振り返りの時間を設定することで、次時からの学習へとつなげていく。</p>	<p>【振り返り】 何について振り返ればよいかを明確に示し、本時の振り返りの時間を設定することで、児童が自らの学習を調整しながら主体的に学ぶことにつなげます。</p>

6 本時の評価規準 ⇨「[単元デザイン FIRST STEP を活用した学習指導案](#)」

※【態一①】の詳細については、工夫3:学習評価の例(p.7)を御参照ください。

7 本時における指導と評価の工夫

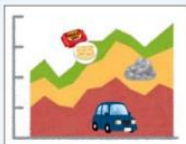
工夫1:学習問題の設定の例

⇨「[単元デザイン FIRST STEP を活用した学習指導案](#)」

単元の学習問題を設定する際は、教師が一方的に提示するのではなく、児童と一緒に設定していくことが大切です。児童にとって学習の必然性や主体性が高まるようにしていきます。そのために、児童の気付きや疑問が生まれる資料を提示し、児童が出し合った気付きや疑問を基に、単元の学習問題を設定します。

本時の学習活動2、3における学習問題を設定していく一場面(資料1)を示します。

《学習活動2 中京工業地帯の主な工業と工業生産額が多い市町について調べ、その特色について考える。》



中京工業地帯の主な工業の種類や工業生産額が分かる資料



(「中京工業地帯の主な工業の種類や工業生産額」が分かる資料を基に) 中京工業地帯では、どこで、どのような工業が盛んだと言えますか?

豊田市の工業生産額が一番多く、輸送用機械(自動車)の生産が盛んです。



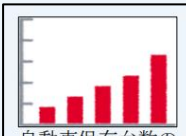
同じ種類の工場が集まっていて、海や高速道路の近くに 있습니다。



なるほど。中京工業地帯は自動車産業が盛んで、工場の立地を工夫していますね。(「自動車保有台数の変遷」、「様々な種類の自動車が行く道路」の資料を基に) では、これらの資料からどのようなことが分かりますか?

《学習活動3 学習問題を設定する。》

【資料提示の工夫②】 単元の学習問題につなげることができる資料を提示します。



自動車保有台数の変遷を示したグラフ



自動車保有台数は増えていて、自動車にはいろいろな種類があることが分かります。



様々な種類の自動車が行く道路の写真

そうですね。では、どうして自動車保有台数が増えたり、様々な種類の自動車が行くようになったりしていると思いますか?



移動に便利だし、ぼくの家では大人は1人1台ずつ車を持っています。



ぼくのおじいちゃんは、普通自動車と軽トラックの2台を持っています。自動車に乗る人が、目的に合わせて選んでいるからだと思います。



なるほど。自動車のおかげで、みなさんの生活が便利になっているんですね。では、どうしてこのようにたくさんの様々な自動車をつくることできていると思いますか?



きっと、農業や漁業のときと同じように自動車をつくる人たちが工夫や努力をしているんじゃないかなと思いました。



自動車をつくる人たちも、農業や漁業と同じように工夫や努力をしていると予想したのですね。それでは、この単元の学習問題はなににしましょうか?



自動車をつくる人たちはどのような工夫や努力をしながら自動車をつくらしているのか、ということについて調べていきたいです。

【資料1 学習問題を設定していく一場面】

児童にとって学習の必然性や主体的に学ぶ意欲が高まるようにしていくために、児童が出し合った気付きや疑問を基にするとともに、目標を踏まえた単元の学習のまとめを想定して、単元の学習問題をつくるのが大切です。

ポイント



工夫2:課題解決の見通しをもつ例

学習計画を立てるとは、学習問題の解決に向けて、児童が生活経験や既習事項などを基に予想を立てたり、解決までの見通しをもったりする学習活動です。学習計画を立てることで、学習問題を解決するまでの見通しをもつことができ、単元を通して児童が主体的に学習に取り組むことができます。

本時の学習活動4における課題解決の見通しをもつ一場面(資料2)を示します。

《学習活動4 学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立てる。》

学習問題わたしたちのくらしにかかせない自動車は、人々のどのような工夫や努力によってつくられているのだろうか。

単元の学習問題

単元の学習問題の解決に向けて、自動車づくりに関わる人々の工夫や努力について考えていきましょう。そのためには、どのようなことをどのような方法で調べると解決できそうですか。

自動車工場で働いている人々の工夫を教科書で調べます。(3時目の学習課題へ)

調べる方法まで考えることができ素晴らしいですね。では、どうしてそれを調べたいと思ったのですか？

自動車の所有台数が増えているということは、生産量も増えているはずですが。多くの自動車をつくるための工夫をしていると考えたからです。

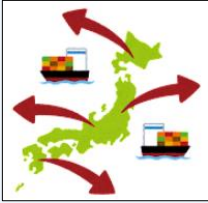
資料を基に予想したのですね。ほかにどのようなことを調べたいですか？

最近父が車を買いました。工場からお店まであんなに大きくて重い車をどのようにして運ぶのかが気になりました。つくった自動車を、消費者のもとへ届ける方法について調べたいです。自動車会社のHPで調べます。(5時目の学習課題へ)

自分の経験を基に調べたいことを決めたのですね。これら以外にもありますか？

米づくりでは品種改良をして、生産者にも消費者にもよいものをつくる工夫がされていました。車づくりでも同じような工夫があるのではないかと思います。そのことについて資料集で調べたいです。(6時目 7時目の学習課題へ)


農業のときの学習を生かして予想することができていますね。みなさんが立てた学習計画を基に、次の時間からの学習で調べていきましょう。



自動車の輸送

資料を基に予想したのですね。ほかにどのようなことを調べたいですか？

最近父が車を買いました。工場からお店まであんなに大きくて重い車をどのようにして運ぶのかが気になりました。つくった自動車を、消費者のもとへ届ける方法について調べたいです。自動車会社のHPで調べます。(5時目の学習課題へ)



自動車の開発

自分の経験を基に調べたいことを決めたのですね。これら以外にもありますか？

米づくりでは品種改良をして、生産者にも消費者にもよいものをつくる工夫がされていました。車づくりでも同じような工夫があるのではないかと思います。そのことについて資料集で調べたいです。(6時目 7時目の学習課題へ)

[2時目以降の学習課題]

- 2時目 自動車は、どのようなところでつくられているのだろう。
- 3時目 自動車をつくっている人は、どのようなことを工夫しているのだろう。
- 4時目 工場では、どのような工夫をして自動車をつくっているのだろう。
- 5時目 つくられた自動車は、どのようにして消費者のもとへと届けられているのだろう。
- 6・7時目 これからは、どのような自動車が求められているのだろう。

[学習計画] 学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立て、課題解決の見通しをもつことで主体的な学習へとつなげます。

【資料2 課題解決の見通しをもつ一場面】

児童が立てた学習計画を、次の時間からの学習課題に生かすことで、児童は、学習の連続性を感じながら、主体的に学習に取り組むことができます。

ただし、児童が立てた学習計画だけで次の時間からの学習を進めていくわけではありません。単元の目標に迫るためには、児童が予想として出していない事項についても教師が立てた単元の指導と評価の計画を基に意図的に提示していくことが大切です。

6

工夫3:学習評価の例

学習評価に当たっては、単元など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすことが求められています。「内容のまとまり」として複数単元から構成されている小学校社会科では、学習指導要領で示されている「内容のまとまり」や内容の取扱いを踏まえ、評価の場면을バランスよく設けることや、前単元までの学習を今単元で生かす場面を設定するなど、長期的な視点で指導と評価の計画を立てることが可能です。

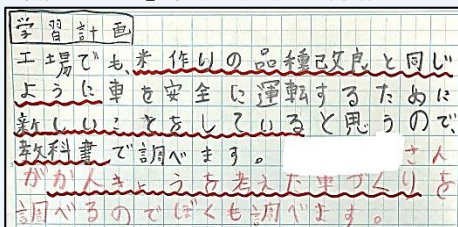
本時の学習活動4における、予想を出し合い、学習計画を立てようとしているかを評価した一場面(資料3)を示します。

《学習活動4 学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立てる。》

【学習評価】 観点別学習状況の評価を総括する資料となるよう、[記録に残す評価]を行います。

評価方法と【評価規準】	判断のポイントと指導の手立て
○ノートの記述内容や発言内容から、「学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。【態-①】	「十分満足できる」状況(A)と判断するポイント ○学習問題の解決に向けて製造工程や工場相互の協力関係、優れた技術などの複数の視点に着目して予想や学習計画を立て、解決の見通しを具体的にもっている。 「努力を要する」状況(C)と判断される児童への指導の手立て ●既習事項である食料生産の学習を振り返ったり、友達の考えを参考にしたりすることを促す。

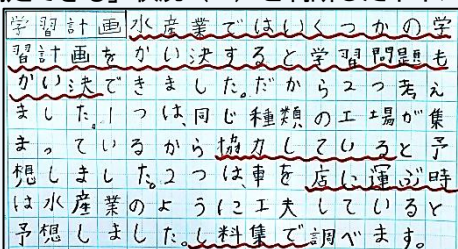
①「おおむね満足できる」状況(B)と判断したポイントの例



【教師の分析及び評価】
前単元までの学習状況を振り返りながら、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっていることから、「おおむね満足できる」状況(B)と判断しました。

・波線：教師が本時の評価規準で設定した評価方法や判断のポイントの該当箇所 ・赤文字：児童が友達の見解を参考に追記した箇所

②「十分満足できる」状況(A)と判断したポイントの例



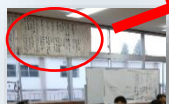
【教師の分析及び評価】
前単元までの学習状況を自ら進んで振り返るとともに、それに加えて複数の視点に着目して予想や学習計画を立て、解決の見通しを具体的にもっていることから、「十分満足できる」状況(A)と判断しました。

・波線：教師が本時の評価規準で設定した評価方法や判断のポイントの該当箇所

③「努力を要する」状況(C)と判断する児童への支援の例

既習事項である食料生産の学習を振り返って予想や学習計画の立て方を想起したり、友達の前予想や学習計画を参考に、自身の予想や学習計画に取り入れたりするよう支援します。

既習事項を想起する
教室掲示の工夫



予想を基に作成した
学習計画についての
意見交換



【資料3 予想を基に学習計画を立てようとしているかを評価した一場面】

本時の評価規準で設定した評価方法や判断のポイントの該当箇所に波線を引くことで、児童の学習状況を捉え、学習や指導の改善に生かします。

ノートの記述を基に評価する際は、友達の見解を参考にしたものは朱書きして区別するなどの工夫が必要です。

ポイント



8 授業者の声

単元を通して、児童が主体的に学び続けるためには、課題把握の場面で児童の気付きや疑問を基に学習問題を設定することや、児童が生活経験や既習事項を基に、学習計画を立て課題解決の見通しをもつこと、教師が児童の学習状況を的確に捉えて指導の改善を図り、児童が自らの学びを振り返って次の学びにつなげることができると感じました。

単元の指導と評価の計画を立て、授業を構想することで、提示資料の精選ができ、児童の気付きや疑問を引き出すことができました。それらを基に学習問題を設定し、学習計画を立てたことで、児童が主体的に学習を進めることができました。また、複数単元から構成される「内容のまとめり」を意識して、評価の場面をバランスよく設けることや、前単元の学習を今単元で生かす場面を設定するなど、長期的な視点で指導と評価の計画を立てました。そのことで、児童が学習問題の解決に向けて主体的に取り組もうとしているかを見取り、指導改善を図ることができました。

今回、問題解決的な学習過程における課題把握の場面の授業を実践し、児童の主体的な学びにつながる大事な1時間であったと改めて感じました。一方、児童の主体的な学びを継続させるためには、その後の課題追究の場面や課題解決の場面における学習の進め方を工夫していく必要性を感じました。本時の学習を生かし、次時以降の学習につなげていくために、学習問題を教室に掲示したり、児童が立てた学習計画や振り返りを生かしたりするなどの手立てを取ることも大切だと感じました。

今後も、単元を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にし、問題解決的な学習過程で単元をデザインすることで、児童が主体的に学ぶ授業づくりを行っていききたいと思います。

9 参考資料等

本時の板書例を以下に示します。まず、内容のまとめりを意識できるよう、①前単元の学習内容を確認し、②本時のめあてを設定します。その後、③中京工業地帯の盛んな工業や工業生産額の様子について調べ、中京工業地帯では輸送用機械の生産が盛んであることを確認します。さらに、自動車保有台数が増加していることや様々な種類の自動車が私たちの生活を支えていることを手掛かりに、④「わたしたちのくらしにかかせない自動車は、人々のどのような工夫や努力によってつくられているのだろうか。」という単元の学習問題につなげます。そして、⑤単元の学習問題に対する予想や疑問を基に、児童一人一人が学習計画を立てます。⑥本時の学びや自分の考えの変容、友達と話し合う活動、これから調べていくことや調べ方などについて振り返りを行い、次時の学習へとつなげていきます。

本時の板書例

The chalkboard contains the following content:

- ①前単元の学習内容** (Previous unit's learning content):
 - ・「工業の種類」
 - ・「工業の盛んな地域の分布」
 - ・「工業製品の改良」が分かるグラフや写真
- ②本時のめあて** (Lesson objective):
 - 中京工業地帯の様子について整理し学習問題をつくらう!
 - ②中京工業地帯の様子
 - 自動車保有台数の変遷を示したグラフや、たくさんの自動車が走る道路の写真
- ③児童の気付き** (Children's realization):
 - 増 産
 - 人物 大切、必要、かせない
 - 豊田市 → 輸送用機械(車)が多い
 - 海や高速道路の近くに多い
 - 同じ種類の工場が近い
- ④単元の学習問題** (Unit learning problem):
 - 学習問題
 - わたしたちのくらしにかかせない自動車は、人々のどのような工夫や努力によってつくられているのだろうか。
- ⑤学習問題に対する児童の予想を学習計画に生かす** (Using children's predictions for the learning problem in the learning plan):
 - 学習計画
 - 調べ方
 - 自動車の種類
 - 輸出入
 - 車の進化
 - ふりかえり
- ⑥振り返り** (Reflection):
 - 振り返り